



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月5日

上場会社名 株式会社JCU 上場取引所 東
 コード番号 4975 URL <http://www.jcu-i.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 粕谷 佳允
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 新 隆徳 (TEL) 03-6895-7001
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 平成26年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	9,384	21.0	2,145	92.4	2,173	70.0	1,441	86.3
26年3月期第2四半期	7,753	5.1	1,115	15.8	1,278	32.2	773	32.8

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,332百万円(7.0%) 26年3月期第2四半期 1,245百万円(107.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	204.31	—
26年3月期第2四半期	109.66	—

(注) 平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行なっております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	19,078	11,152	58.0
26年3月期	17,133	10,004	58.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 11,066百万円 26年3月期 9,981百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
27年3月期	—	80.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	40.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行なっております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	15.4	4,300	57.7	4,350	46.7	2,900	64.4	411.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年3月期2Q	7,054,800株	26年3月期	7,054,800株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	466株	26年3月期	466株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年3月期2Q	7,054,334株	26年3月期2Q	7,054,334株

(注) 平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行なっております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国景気が緩やかな回復基調が持続する一方で、中国景気は不動産市場の調整長期化や経済成長減速懸念があり、また欧州景気もデフレ懸念から不透明感があります。また、ウクライナ、中東地域における混乱、アフリカ地域からエボラ熱の感染拡大懸念等世界経済の下押しリスク要因があります。また、日本経済におきましても消費増税により落ち込んだ景気について緩やかに回復が見込まれておりますが、消費税増税の政府判断や海外景気の下振れ等、日本経済を下押しするリスクがあります。

このような状況のもと、当社グループの業績は、海外における薬品の販売が好調に推移したことにより、売上高は9,384百万円（前年同期比21.0%増）となりました。この結果、営業利益は2,145百万円（前年同期比92.4%増）、経常利益は2,173百万円（前年同期比70.0%増）、四半期純利益は1,441百万円（前年同期比86.3%増）とそれぞれ前年同期を上回りました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(薬品事業)

薬品事業におきましては、中国、台湾、韓国におけるプリント配線板用めっき薬品の販売が好調に推移し、中国では、自動車用めっき薬品の販売も順調に推移しました。この結果、売上高は7,494百万円（前年同期比31.4%増）、セグメント利益は、2,815百万円（前年同期比73.1%増）と前年を大きく上回りました。

(装置事業)

装置事業におきましては、一部の顧客において設備投資に前向きな動きが見られ始めたものの、売上高は1,482百万円（前年同期比13.3%減）となりました。この結果、セグメント利益は68百万円（前年同期比43.2%減）と前年を下回りました。

(新規事業)

新規事業におきましては、プラズマ装置の販売は前年を下回ったものの、太陽光発電設備の売上計上により、売上高は407百万円（前年同期比19.1%増）となりました。この結果、セグメント損失は224百万円（前年同期はセグメント損失226百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,944百万円（11.3%）増加し、19,078百万円となりました。

流動資産は、主に長期借入による現金及び預金の増加や装置売代金回収による受取手形及び売掛金の増加等により1,225百万円（10.2%）増加し、13,275百万円となりました。

固定資産は、主に北海道滝川市の太陽光発電設備完成による機械装置及び運搬具や韓国の新工場建設に伴う建設仮勘定の増加等により、718百万円（14.1%）増加し、5,802百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ796百万円（11.2%）増加し、7,926百万円となりました。

流動負債は、主に銀行借入による長期借入金（1年内返済予定）の増加や太陽光発電設備建設によるその他の負債の増加等により、284百万円（5.6%）増加し、5,379百万円となりました。

固定負債は、主に銀行借入による長期借入金の増加により512百万円（25.2%）増加し、2,546百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ1,147百万円（11.5%）増加し、11,152百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、4,897百万円と前連結会計年度末に比べ717百万円増加しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

主に売上債権やたな卸資産の増加等による支出はあったものの、税金等調整前四半期純利益や仕入債務や前受金の増加等による収入により、営業活動によるキャッシュ・フローは845百万円と、前年同期と比べ収入が727百万円 (616.8%)の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

定期預金の減少による収入は増加しましたが、主に韓国やベトナムの工場建設に伴う有形固定資産の取得による支出が増加したことにより、投資活動によるキャッシュ・フローは△315百万円と、前年同期と比べ支出が182百万円 (137.6%)の増加となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

主に銀行借入による収入が生じたこと等により、財務活動によるキャッシュ・フローは252百万円の収入 (前年同期は△220百万円の支出) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成26年 8 月 4 日に公表した通期業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、本日 (平成26年11月 5 日) 公表の「平成27年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異ならびに平成27年 3 月期通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,993,948	5,447,007
受取手形及び売掛金	4,527,949	5,310,074
商品及び製品	881,318	1,016,832
仕掛品	62,845	93,658
原材料及び貯蔵品	329,282	321,516
繰延税金資産	339,086	265,040
その他	1,010,465	917,424
貸倒引当金	△95,314	△96,160
流動資産合計	12,049,580	13,275,394
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,649,283	1,744,209
機械装置及び運搬具（純額）	236,091	607,912
工具、器具及び備品（純額）	346,947	399,106
土地	522,824	522,824
リース資産（純額）	142,333	146,335
建設仮勘定	341,030	489,297
有形固定資産合計	3,238,509	3,909,685
無形固定資産		
のれん	93,598	71,265
その他	43,906	42,846
無形固定資産合計	137,505	114,111
投資その他の資産		
投資有価証券	1,296,283	1,402,441
繰延税金資産	90,533	16,044
その他	321,513	360,545
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,708,330	1,779,031
固定資産合計	5,084,345	5,802,828
資産合計	17,133,925	19,078,223

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,145,179	2,270,464
短期借入金	273,049	187,051
1年内返済予定の長期借入金	521,004	651,828
リース債務	14,533	16,886
未払法人税等	592,744	444,062
賞与引当金	282,308	360,975
工事損失引当金	13,962	14,070
前受金	341,696	400,091
繰延税金負債	24,378	19,378
その他	886,249	1,014,639
流動負債合計	5,095,106	5,379,448
固定負債		
長期借入金	861,227	1,259,358
リース債務	162,590	163,501
退職給付に係る負債	732,704	779,572
繰延税金負債	-	49,975
資産除去債務	180,172	196,420
その他	97,871	97,871
固定負債合計	2,034,566	2,546,700
負債合計	7,129,672	7,926,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,255	1,176,255
資本剰余金	1,128,904	1,128,904
利益剰余金	6,785,486	8,032,778
自己株式	△714	△714
株主資本合計	9,089,931	10,337,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,814	200,196
為替換算調整勘定	759,494	528,978
その他の包括利益累計額合計	891,309	729,175
少数株主持分	23,013	85,675
純資産合計	10,004,253	11,152,074
負債純資産合計	17,133,925	19,078,223

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	7,753,688	9,384,309
売上原価	3,877,380	4,007,702
売上総利益	3,876,307	5,376,607
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	961,084	1,069,758
賞与	279,251	323,185
退職給付費用	57,735	61,478
減価償却費	122,636	127,183
貸倒引当金繰入額	-	6,770
その他	1,340,480	1,642,785
販売費及び一般管理費合計	2,761,188	3,231,162
営業利益	1,115,118	2,145,444
営業外収益		
受取利息	15,348	12,223
受取配当金	18,632	18,419
為替差益	128,735	8,353
助成金収入	304	-
貸倒引当金戻入額	4,320	-
持分法による投資利益	-	102
その他	11,232	3,988
営業外収益合計	178,573	43,087
営業外費用		
支払利息	13,392	14,090
持分法による投資損失	8	-
その他	2,010	1,187
営業外費用合計	15,411	15,277
経常利益	1,278,281	2,173,254
特別利益		
固定資産売却益	1,624	4,977
特別利益合計	1,624	4,977
特別損失		
固定資産売却損	90	-
固定資産除却損	225	618
持分変動損失	3,897	-
投資有価証券評価損	-	467
特別損失合計	4,213	1,086
税金等調整前四半期純利益	1,275,692	2,177,145
法人税、住民税及び事業税	343,364	522,996
法人税等調整額	157,130	154,360
法人税等合計	500,495	677,357
少数株主損益調整前四半期純利益	775,197	1,499,788
少数株主利益	1,631	58,502
四半期純利益	773,565	1,441,286

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	775,197	1,499,788
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58,629	68,382
為替換算調整勘定	411,770	△235,132
持分法適用会社に対する持分相当額	271	△96
その他の包括利益合計	470,671	△166,846
四半期包括利益	1,245,869	1,332,942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,240,686	1,279,152
少数株主に係る四半期包括利益	5,182	53,789

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,275,692	2,177,145
減価償却費	187,303	187,769
のれん償却額	40,281	41,016
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10,497	6,307
賞与引当金の増減額(△は減少)	14,376	78,802
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△27,413	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	49,364
受取利息及び受取配当金	△33,980	△30,642
支払利息	13,392	14,090
為替差損益(△は益)	△49,508	△27,682
持分法による投資損益(△は益)	8	△102
固定資産売却損益(△は益)	△1,534	△4,977
固定資産除却損	225	618
投資有価証券評価損益(△は益)	-	467
売上債権の増減額(△は増加)	622,374	△927,414
前受金の増減額(△は減少)	△640,901	59,484
たな卸資産の増減額(△は増加)	143,563	△211,720
仕入債務の増減額(△は減少)	△997,880	166,444
前渡金の増減額(△は増加)	377,270	159,275
その他	△127,545	△300,778
小計	785,225	1,437,467
利息及び配当金の受取額	32,957	35,059
利息の支払額	△13,618	△14,045
法人税等の支払額	△686,635	△661,121
法人税等の還付額	-	47,922
営業活動によるキャッシュ・フロー	117,929	845,282
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	16,046	253,475
有形固定資産の取得による支出	△132,957	△490,502
有形固定資産の売却による収入	1,813	1,842
無形固定資産の取得による支出	△13,799	△14,649
投資有価証券の取得による支出	△394	△391
ゴルフ会員権の取得による支出	△2,811	-
子会社株式の取得による支出	-	△14,618
その他	△654	△50,556
投資活動によるキャッシュ・フロー	△132,757	△315,400

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△61,894	△81,540
長期借入れによる収入	350,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△345,004	△369,095
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7,819	△7,418
自己株式の取得による支出	△147	-
配当金の支払額	△158,468	△193,707
少数株主からの払込みによる収入	2,892	3,861
財務活動によるキャッシュ・フロー	△220,439	252,099
現金及び現金同等物に係る換算差額	135,094	△64,647
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△100,173	717,334
現金及び現金同等物の期首残高	3,378,238	4,180,478
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,278,065	4,897,812

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末に比して著しい変動がないため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

I 前第 2 四半期連結累計期間(自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	薬品事業	装置事業	新規事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,702,848	1,708,906	341,933	7,753,688	—	7,753,688
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	277	277	△277	—
計	5,702,848	1,708,906	342,210	7,753,965	△277	7,753,688
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,626,309	120,883	△226,123	1,521,069	△405,950	1,115,118

(注) 1. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	当第 2 四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	2,179
全社費用※	△408,129
合計	△405,950

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	薬品事業	装置事業	新規事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,494,861	1,482,258	407,190	9,384,309	—	9,384,309
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	499	499	△499	—
計	7,494,861	1,482,258	407,689	9,384,809	△499	9,384,309
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,815,819	68,608	△224,344	2,660,084	△514,639	2,145,444

(注) 1. 調整額の内容は次のとおりであります。

セグメント利益

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	3,330
全社費用※	△517,970
合計	△514,639

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。